

体験授業 PROGRAM

体験授業①

スポーツが好きなら、一度疑ってみよう
～スポーツ文化の「現在」を識る～

時間—11:20～12:00 場所—4号館 1階 4105教室

講師 荻 浩三 教授

体育学部体育学科

スポーツが抱えている様々な問題(功罪)を浮き彫りにして、私たちの眼前にあるスポーツの現在(いま)を客観的かつ幅広く捉えることのできる眼差しを身につけてみましょう。

スポーツが好きだからこそ、敢えてスポーツの負の財産にも眼を向け、真のスポーツ姿を語られるようになります。

これから体育スポーツ学を学ぼうというみなさんにとって大切な姿勢です。

体験授業②

子どもの体力と健康について考えよう

時間—12:30～13:10 場所—4号館 1階 4105教室

講師 鈴川 一宏 教授

体育学部健康学科

現在の子どもの体力は以前に比べ少し向上してきましたが、今もなお親世代に比べて低い状況にあります。しかし、そもそも体力って何でしょうか？また、体力が低下するとなぜいけないのでしょうか。体験授業では、子どもの体力と健康について研究室で行っている生活習慣に関する調査結果を用いながら、健康教育の立場から楽しくお話をしたいと思います。

体験授業③

剣道・基本の動作(礼法と素振り)

時間—13:40～14:20 場所—米本記念体育館 剣道場

講師 古澤 伸晃 准教授

スポーツ文化学部武道教育学科

剣道は、武技、武術などから発生した我が国固有の文化の一つであり、老若男女を問わず盛んに行われています。自分自身が相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの攻防を通して、気力や集中力が育成されます。また、相手を尊重し、礼儀を重んずる態度を育成できるのが剣道です。

体験授業では、剣道の礼法について学び、基本的な姿勢・構え・素振りについて体験してみましょう。

体験授業④

ベースボール型競技の活用

時間—13:40～14:20 場所—4号館 1階 4105教室

講師 筒井 崇護 教授

スポーツ文化学部スポーツ国際学科

ベースボール型競技の特徴はなんといっても集団で勝利を目指すチームワークにあります。また個人の技量も求められます。集団の中の個という双方の働きかけがないと、チームとしてうまく機能しません。社会に出て働く上においても、まったく同じような働きを求められます。こうした社会生活上の疑似体験をベースボール型競技を通して自ら学ぶことが出来る素晴らしい競技だと思っています。

体験授業⑤

スポーツマネジメントの基礎 “マネジメント”のイロハのイ

時間—11:20～12:00 場所—8号館 3階 8302教室

講師 齊藤 隆志 教授

スポーツマネジメント学部スポーツマネジメント学科

スポーツマネジメントとはどのような意味でしょうか。高校部活動でも、日常生活でも様々な場面でマネジメントが行われています。一方、スポーツメーカーやプロスポーツチームで働く人たちはとても高度で専門的なマネジメントを行っています。誰にでも共通するマネジメントと、専門的な“プロフェッショナルマネジメント”の違いを理解し、大学においてスポーツマネジメントを学が意義やスポーツ企業でどう生かすのかを説明します。

体験授業⑥

スポーツライフをマネジメントする

時間—12:30～13:10 場所—8号館 3階 8302教室

講師 野村 一路 教授

スポーツマネジメント学部スポーツライフマネジメント学科

スポーツ基本法に基づく、スポーツ基本計画が策定されています。しかしながらスポーツ実施率は依然として目標には届いていません。国民の多くが、日常の生活の中にスポーツライフを取り入れてもらえるようにマネジメントしていくにはどうすれば良いか、データを基に考えてみましょう。

体験授業 PROGRAM

体験授業⑦

教育学入門

時間—11:20~12:00 場所—4号館 1階 4106教室

講師 関芽 准教授

児童スポーツ教育学科児童スポーツ教育コース

将来教員になるために大学で勉強したいと思っている人の多くは、「どうすれば子どもを理解できるのか」、あるいは「子どもが興味を抱く授業の展開とは」などといったことを学びたいと考えているのではないのでしょうか。しかし、教育とは「〇〇を理解すれば、あなたも××が出来る」といった技術・方法論を学ばばうまくいくような単純なものではありません。そもそもなぜ我々は赤の他人の子どもの教育にかかわろうとするのでしょうか。また、学校教育は本当に子どもたちのためになっているのでしょうか。今回の授業では、皆さんが当たり前と考えてきた「子ども」や「学校」にまつわる一般的なイメージを崩していくことで、子どもを理解することの難しさを感じ取ってもらおうと思っています。

体験授業⑨

手部に包帯を巻いてみよう！

時間—13:40~14:20 場所—9号館 2階 9201実習室

講師 松田 康宏 准教授

保健医療学部整復医療学科

柔道整復師が行う施術の中で体得しなければならない重要な技術の一つに包帯法があります。包帯法は、怪我をした患部を覆ったり(被覆:ひふく)したり、患部の動きを制限(固定)して、患部を安静にするなど様々な役割があります。体験授業では包帯の種類や特性を理解し、手に包帯を巻いて頂きます。簡単そうで難しいので是非チャレンジしてください。

体験授業⑩

救急救命士への道

—助けを待っている誰かのため、あなたもヒーローになりませんか?—

時間—13:40~14:20 場所—9号館 1階 9103臨地実習室

講師 中澤 真弓 准教授

保健医療学部救急医療学科

救急医療学科では、「救急救命士」を養成しています。救急救命士とはどのような職種なのか、どうすれば国家資格を取得できるのか、どのような分野で活躍しているのかなど、「救急救命士とは何か」が理解できるように説明します。当学科では、コロナ禍でも教育の質を落とすことなく、感染防止対策を徹底しながら講義や実習を行っています。最先端のVR教材の導入や、電動ストレッチャーを搭載した救急車を活用した実習、学生の研究発表会など、どのような教育を行っているのか紹介します。救急現場における女性活躍の取組みについても、講師の経験談も踏まえ、お話しします。皆様のお越しをお待ちしています！